

2006年8月10日

県政に望む

報告書

(2006年8月7日～9日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	11



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

任期満了に伴う県知事選挙は8月6日行われ、新人の元衆院議員村井仁氏が当選した。改革をめざす県政の方向性について、2期通算6年弱の「継続」を訴えた現職の田中康夫氏に対して「転換」を迫った村井氏の一騎打ちとなった選挙戦は、かつてない激戦を展開。投票率が66%と前回よりも8ポイント下がり、有効投票114万7000票の53%を獲得した村井氏が7ポイント弱、約7万8500票差で、県政の新しいかじ取りを託されることになった。

「脱ダム宣言」「ガラス張り知事室」など政策、運営手法の両面で、従来と異なった振幅の大きい田中知事・県政の評価は分かれ、県議会との深刻なあつれきは知事不信任 - 知事失職による出直し選挙の事態にもなった（2002年9月）。

さまざまな施策が道半ばとして「成果」が問われた選挙戦を経て、バトンタッチされる村井県政は、地方分権・自立が求められる時代とほうらはらに、財政の苦境、産業の立ち遅れ、自然災害への脆弱さなどの継続的な重荷を背負ったスタートになる。

「後戻りさせられない改革」という県民にとっても苦みを伴った選択であり、今後の施策と運営に厳しい注視と点検が欠かせない。とりあえず知事交代の新局面で、県民各層が新しい県政に託す期待を探る。

調査の設計

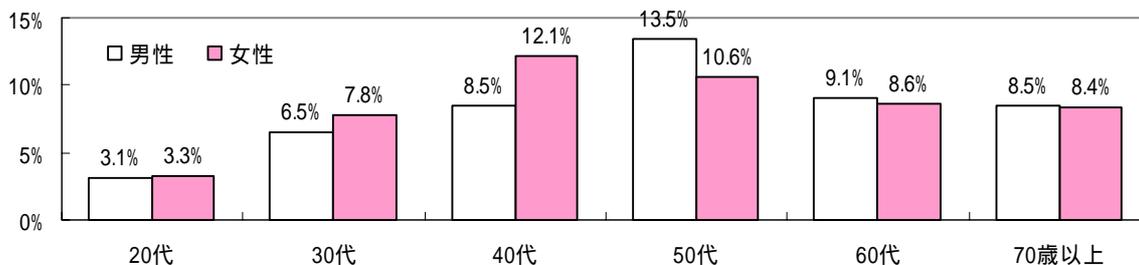
調査対象	県内に住む20歳以上の男女800人
抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20～70代の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
調査方法	個別電話聞き取り・NTT電話帳から一定のルールで無作為抽出した世帯にコールして、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
調査地点	19市10町6村
調査時期	2006年8月7日～9日
有効回答	800人（男性394人 女性406人）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

< サンプルの内訳 >

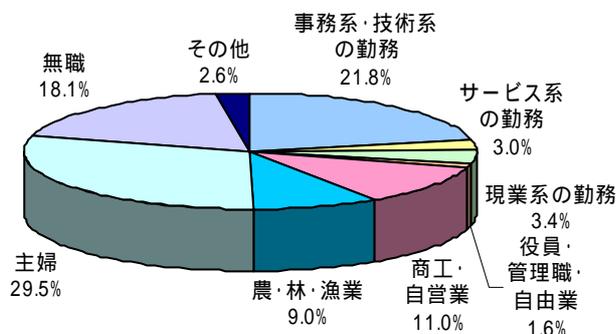
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	800	51	114	165	193	142	135
	100.0%	6.4%	14.3%	20.6%	24.1%	17.8%	16.9%
男性	394	25	52	68	108	73	68
	49.3%	3.1%	6.5%	8.5%	13.5%	9.1%	8.5%
女性	406	26	62	97	85	69	67
	50.8%	3.3%	7.8%	12.1%	10.6%	8.6%	8.4%



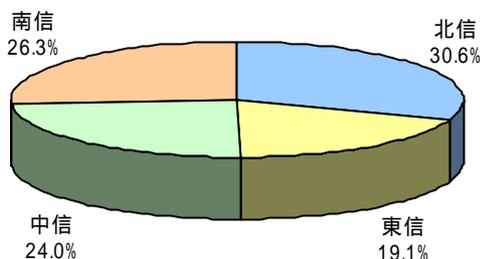
【職業】

事務系・技術系の勤務	174	21.8%
サービス系の勤務	24	3.0%
現業系の勤務	27	3.4%
役員・管理職・自由業	13	1.6%
商工・自営業	88	11.0%
農・林・漁業	72	9.0%
主婦	236	29.5%
無職	145	18.1%
その他	21	2.6%



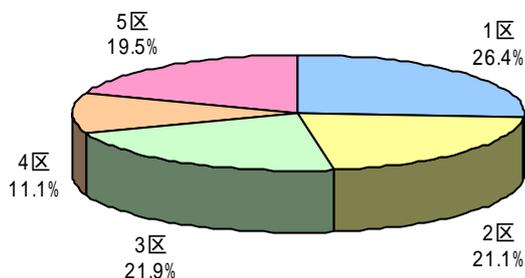
【地域】

北信	245	30.6%
東信	153	19.1%
中信	192	24.0%
南信	210	26.3%



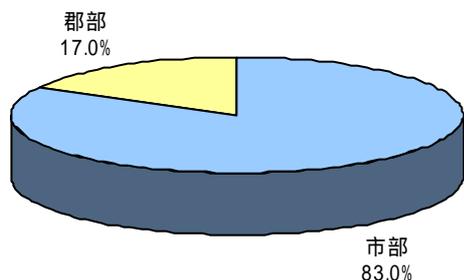
【選挙区】

1区	211	26.4%
2区	169	21.1%
3区	175	21.9%
4区	89	11.1%
5区	156	19.5%



【市郡】

市部	664	83.0%
郡部	136	17.0%

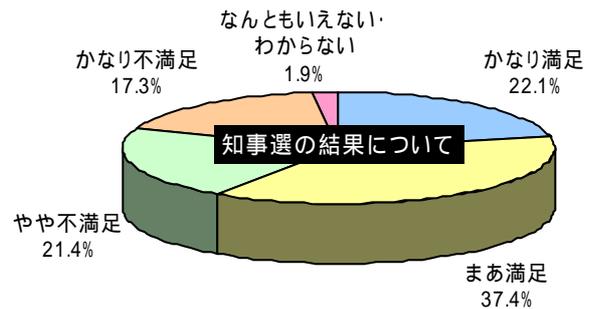


知事選の評価と“田中票”の流れ

選挙結果に「満足」60% 北信 67% - 南信 52%

今回の知事選の結果について「満足」が総体で60%、「不満足」は39%に分かれ、男性の満足度がやや女性を上回る。高い年代層で「かなり満足」が高くなり、60代では30%に迫る。対照的に、20代では「不満足」が半数近くの高さを示す。

地域的には北信で「満足」が67%の最高の半面、南信では52%と低い。政党支持層では自民党の満足度が80%を突破するが、民主党は辛うじて半数となり「不満足」と拮抗する。支持政党なし層も「満足」が56%と平均値を下回る。

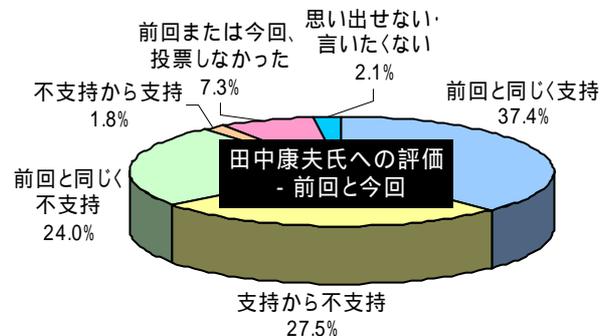


2002年選挙の田中票の28%が不支持へ 女性で高め

前回2002年9月の知事不信任に伴う出直し知事選当時の田中康夫氏の評価と、今回選挙の判断を比較すると「前回と同じく支持のまま」が37%と最も多い。しかし「支持から不支持へ」の転換が28%、「前回と同じく不支持のまま」は24%、合計では過半数となる。「不支持から支持へ」はごく低率。

不支持へ転じた“田中離れ”をみると、女性が30%近くでやや高め。年代層では20代で低いほかは、めだつた違いはみられない。

職業層では管理職層で40%を超える。地域的には東信の34%が最高。政党支持層では公明党で半数を占める高さで、自民党では3人に1人の割合。民主党でも平均値をやや上回るが、無党派層では25%と低めになっている。



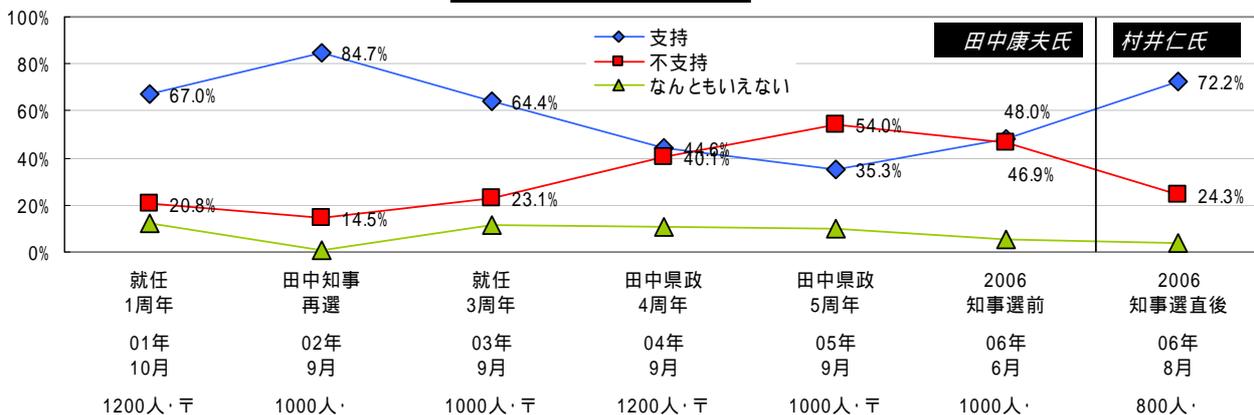
村井次期知事の評価

支持 72.2% 不支持は4人に1人

初当選した村井仁次期知事を「支持する」が総体で70%台に到達し、積極的な支持だけでも35.9%にのぼった。「支持しない」は合計で24.3%にとどまる。田中康夫現知事が2002年9月の出直し知事選直後に得た84.7%の最高支持率に次ぐ高さとなった。

男性で支持70.8% - 不支持26.6% 女性では支持73.4% - 不支持21.9%と微妙な温度差があり、年代層では年代層が高まるにつれて積極的な支持が高まる。20代では不支持層が3人に1人を数える。

知事・県政の評価の推移



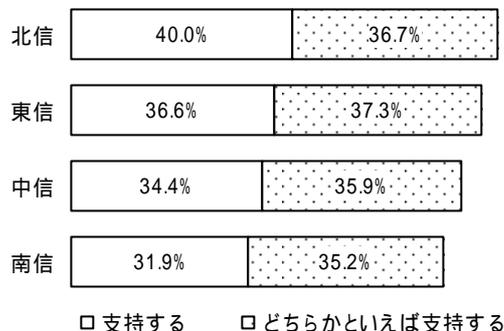
<注>「なんともいえない」は郵送調査(〒)で選択肢として明示。電話調査()では明示しないで実施している。

	02年9月	03年9月	04年9月	05年9月	06年6月	今回
支持する	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%
どちらかといえば支持する	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%
どちらかといえば支持しない	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%
支持しない	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%
なんともいえない・わからない	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%
不明	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-

支持高い北信 77% 低い南信 67%

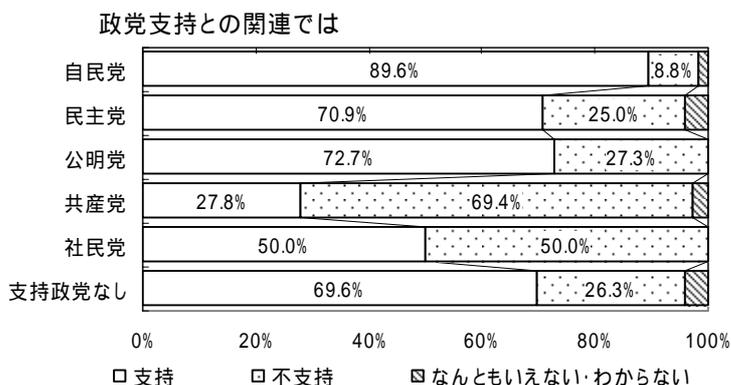
地域的な支持状況は北信で最も高く、積極的支持のみで40%台にのせ総体で76.7%。次いで東信で73.9%。しかし、南信では「支持する」総体で67.1%に下がり、中信でも70.3%にとどまり、田中県政の当初の“南高北低”の傾向と全く逆の流れが浮き彫りになった。

選挙区別でみると、積極的支持が1区で41.7%と最も高い反面、4区では27.0%とかなりの開きが生じた。



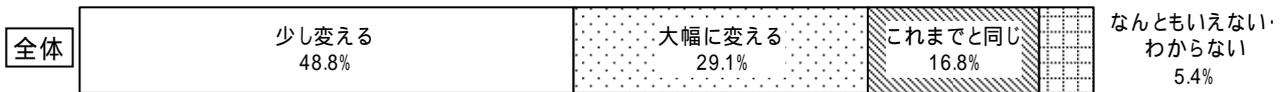
自民党支持層の支持 90% 民主党と無党派層は70%前後で並ぶ

政党支持層では、自民党が支持総体で89.6%と、知事選の村井氏支援をうけて期待感を集中させる一方で、自主投票で臨んだ民主党は70.9%に下がる。県本部が村井氏を推薦した公明党支持層は72.8%とほぼ平均値にとどまる。共産党が27.8%と最も低く、社民党は支持と不支持が並んだ。支持政党なし層は69.6%で平均値を下回る。



県政のスタンスと政策面の期待

県政運営「大きく変更を」30%に迫る 「従来と同じで」17%



県政の事業・組織の運営について、田中県政の流れをどうするのか、新しい村井県政に望むのは「少し変えてほしい」が約半数を占めて最も多い半面、「大幅に変えてほしい」が30%に迫る。「これまでと同じでよい」は20%に届かない。

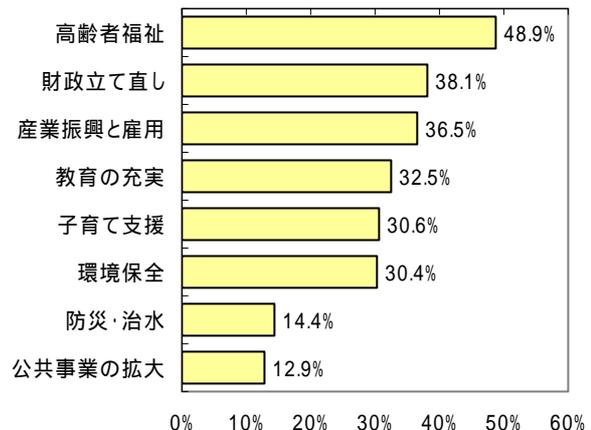
「大幅に変えてほしい」でみると、男性で34%と高く、40代以降の年代層でも高めになる。地域的には東北信で30%を超えるが、南信では25%に下がり「これまでと同じに」が22%と最も高い。政党支持層では自民党で40%に迫る高さだが、民主党では30%を割り込み、無党派層ではさらに下がる。

望む政策「高齢者福祉」トップ 「財政立て直し」「産業振興」続く

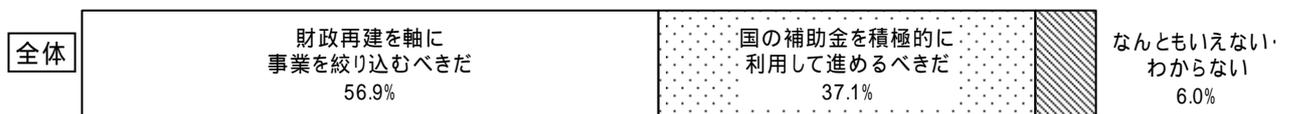
政策面の期待は「高齢者福祉」が他を引き離してトップに挙げられ「財政立て直し」と「産業振興と雇用」が上位に並ぶ。例示した8項目のなかで「公共事業の拡大」と「防砂・治水」は下位に置かれる。

男女差がめだち、男性で「財政」と「産業」が高め。女性では「高齢者福祉」がぐんと伸び「教育の充実」が2位に上がり「子育て支援」も上位に挙げられた。

年代層でも、60代以降は「高齢者福祉」に集中し「財政」は20代が最も高くなる。「産業」では40～50代がめだち「子育て」には20～30代の特化がみられる。



公共事業は「財政再建を軸に」57% 「補助金を積極利用」37%



論議が続いてきた公共事業のあり方について「財政再建を軸に絞り込んで」とする田中県政の継続を支持する流れが57%と優位に置かれ「国の補助金の積極的な利用を」とする転換を支持する流れは37%にとどまる。

30～40代の年代層が「絞り込み」に共感を示す度合いが高いが、50代以降では「補助金利用」の期待が高まる。職業層では事務・技術系、現業系の勤め人、商工自営、管理職層で財政再建を重視する傾向がみられ、農林業、無職層では「補助金利用」が高めになる。

県立高校の統廃合「既定の方針にこだわらず」70%

選挙戦の大きな争点だった統廃合問題は、来春の一斉実施のこれまでの県教委方針に「こだわらない方がよい」が70%に達し、30~40代では75%以上に高くなる。地域的にめだつた違いはみられないが、政党支持層では自民党が76%と高いが、民主党では64%と低く、無党派層はほぼ平均値に並ぶ。

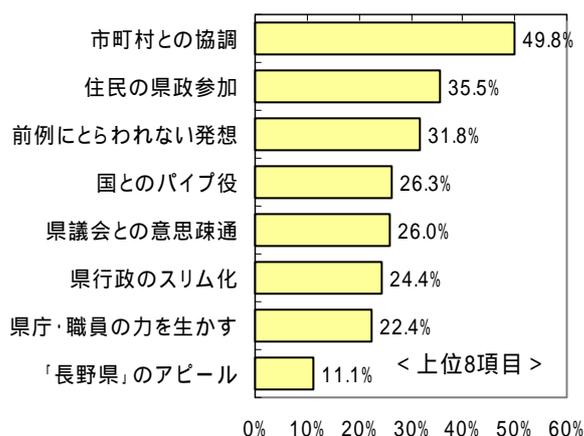
運営手法に対する期待

「市町村との協調」トップ 「県民参加」「発想の新しさ」上位

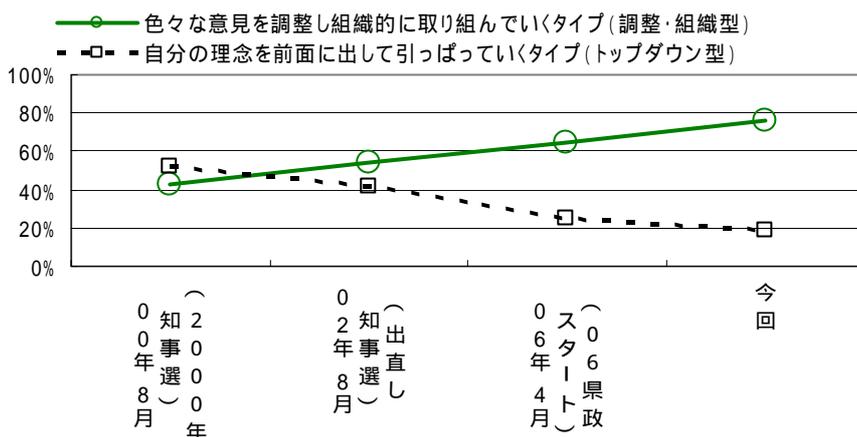
選挙戦でキーワードのひとつになった「市町村との協調」が他を引き離してトップ。20~30代の若い年代層で高く、郡部の期待感が市部を大幅に上回る。

上位には「住民の県政参加」と「前例にとらわれない発想」が並び、4位には「国とのパイプ役」が入った。自民党支持層では2番目の高さを示し、民主党支持層との間には10ポイントの開きが出ている。

知事選前の調査(6月)で2位に挙げられた「県議会との意思疎通」は5位に下がった。



リーダーシップ「調整・組織型」77% 「トップダウン型」18%



長野県の知事に期待するリーダーシップのあり方は「色々な意見を調整し組織的に取り組んでいくタイプ」が77%の圧倒的な支持を得て「自分の理念を前面に出して引っ張っていくタイプ」は20%を割り込んだ。田中県政の6年間近く、一貫して“調整型”が増えてきた流れがさらに加速された。

今回の知事選に満足している層ほど“調整型”に対する期待が高くなっており、県政運営を「大幅に変えるのがよい」とする層では86%の集中ぶりを示す。

県議会の役割の期待

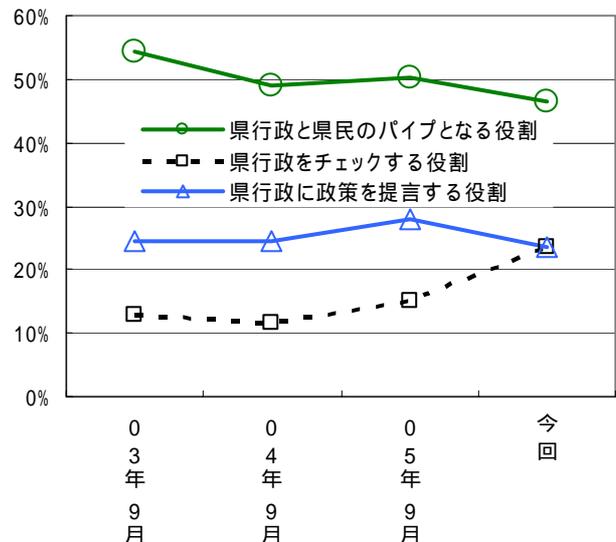
「県民とのパイプ役」47% 「チェック役」「政策提言」並ぶ

新しい村井知事・県政に対する県議会の果たすべき役割として「県行政と県民のパイプ役」が半数近くにのぼり「県行政のチェック役」が伸びて「県行政への政策の提言役」と20%台で並ぶ。

「パイプ役」は女性で半数を超える勢いだが、男性では「チェック役」と「政策提言役」が高めになり、3つの役割がやや平均化する。

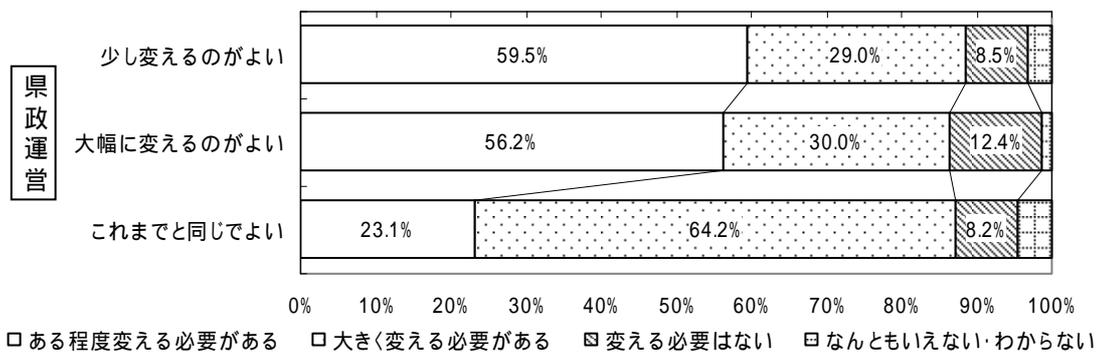
「チェック役」には若い年代層の期待が強めに出ている。

政党支持層では、自民党で「パイプ役」が半数を超えるが、民主党では平均値に届かない。「チェック役」に共産党が40%に迫っている。



来春の県議選で「大きく流れ変える必要」37%

県議会の流れをどのようにしたいか～県政の事業・組織の運営との関連では



来年春の統一地方選で行われる県議選で、今の県議会の流れを「ある程度変える必要がある」が半数を占める一方で「大きく変える必要がある」が36%にのぼった。「変える必要はない」は10%に届かない。

「ある程度変える」は女性や若い年代層で高い半面「大きく変える必要」は男性で40%に達し、管理職層、商工自営では過半数を占める。政党支持層では自民党が20%と低く、民主党の39%との落差が著しい。また、公明党で46%、共産党は69%、社民党44%と高くなっている。無党派層は平均値をやや上回る。

政党支持の現況

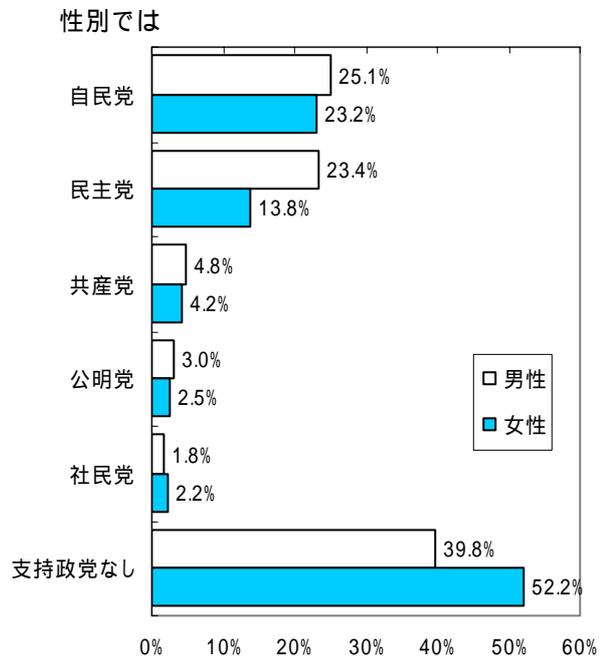
自民が微増 24.1% 微減の民主に 5.6 差 無党派層 46.1%

自民党が微増の 24.1% で首位を保ち、民主党は微減の 18.5% で、その差は 5.6 ポイントにやや広がった。3 位は共産党が 4 % 台に伸ばして 3 位をキープし、公明党、社民党が 2 % 台で続く。支持政党なし層は 46.1% でやや低下したものの高水準は変わらない。

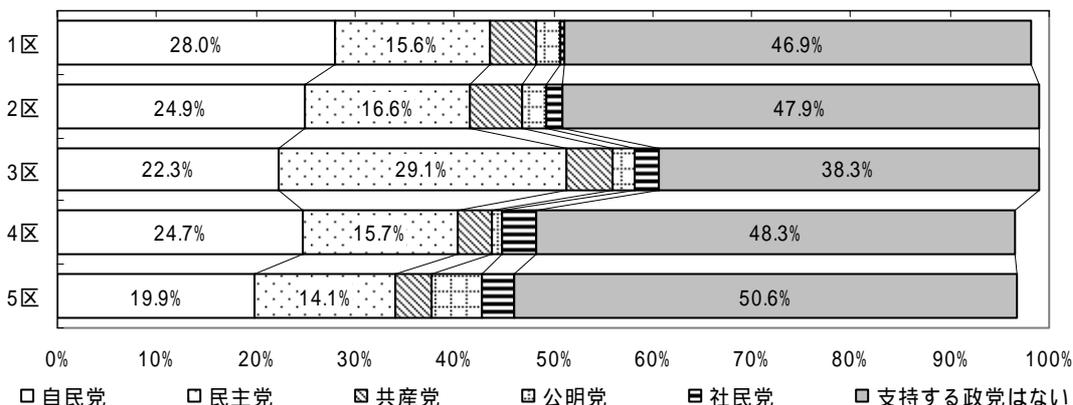
自民党は男女差が少ない傾向が続くが、民主党は前回かなり均衡した男女差が 10 ポイントに広がり、再び“男高女低”のアンバランスが際立つ。

自民党、民主党ともに年代層が高まるほどに支持が厚めになる傾向は変わらないが、40代で支持政党なしが 60% を突破し、年代層の最高になった。選挙区別では自民党が 1、2、4、5 区の 4 つの区でトップを占め、民主党は前回優位にたった 2 区を失い、3 区のみとなった。

村井次期知事の支持層は自民党 30.0%、民主党 18.2%、支持政党なし 44.5%。これと対照的に、不支持層では自民党 8.8%、民主党 19.1%、支持政党なし 50.0% と違いがめだち、とくに共産党支持が 12.9% に跳ね上がる。

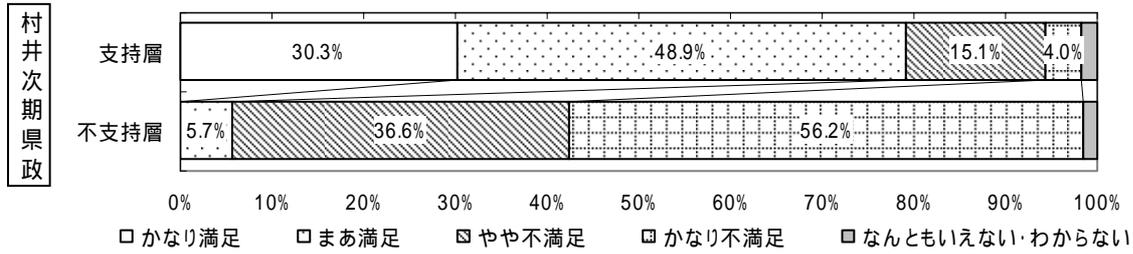


選挙区別では

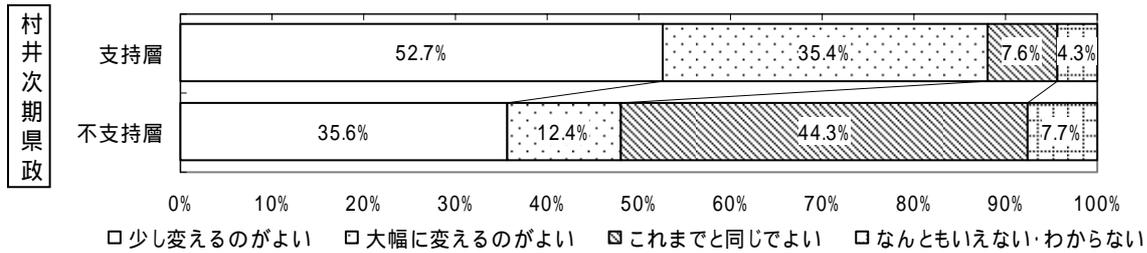


村井次期県政の支持層と不支持層

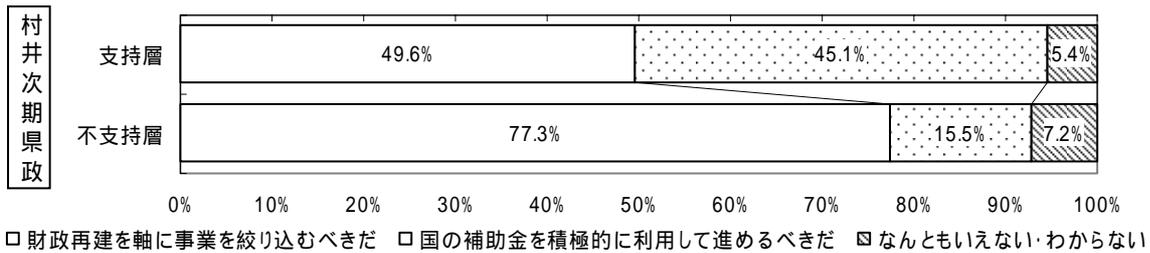
今回の知事選結果について



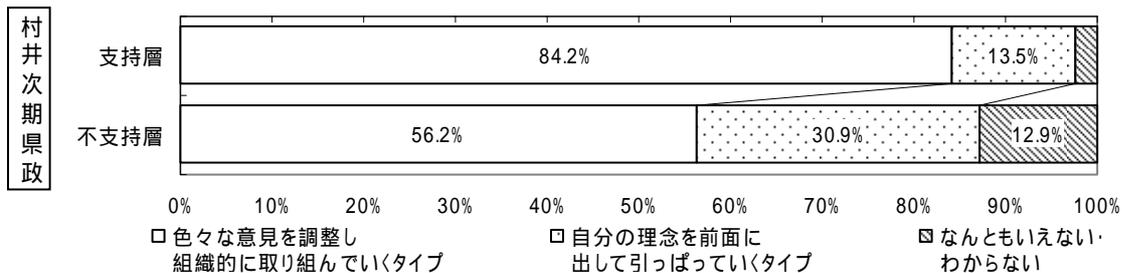
県政の事業・組織の運営を村井知事にどのように進めてほしいか



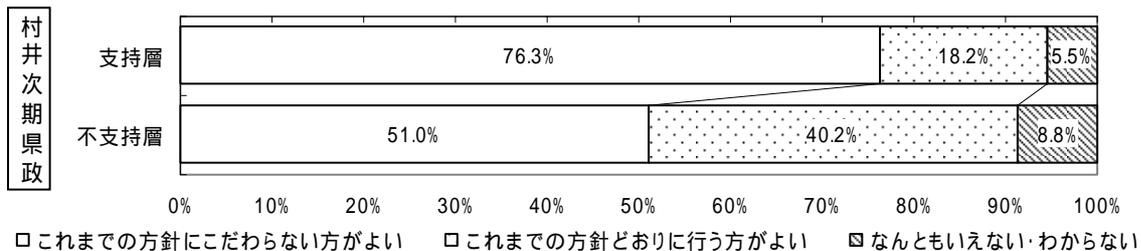
公共事業の進め方について、どのような取り組みを望むか



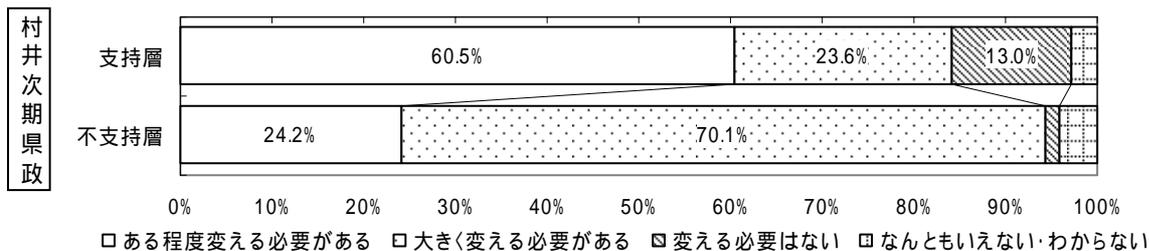
知事にどのようなリーダーシップを望むか



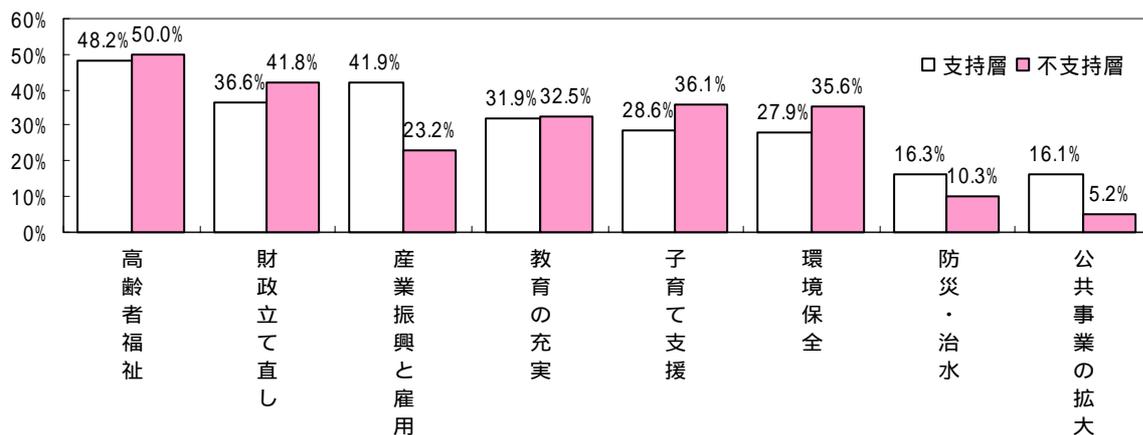
県立高校の統廃合を来年度に一斉実施する方針について



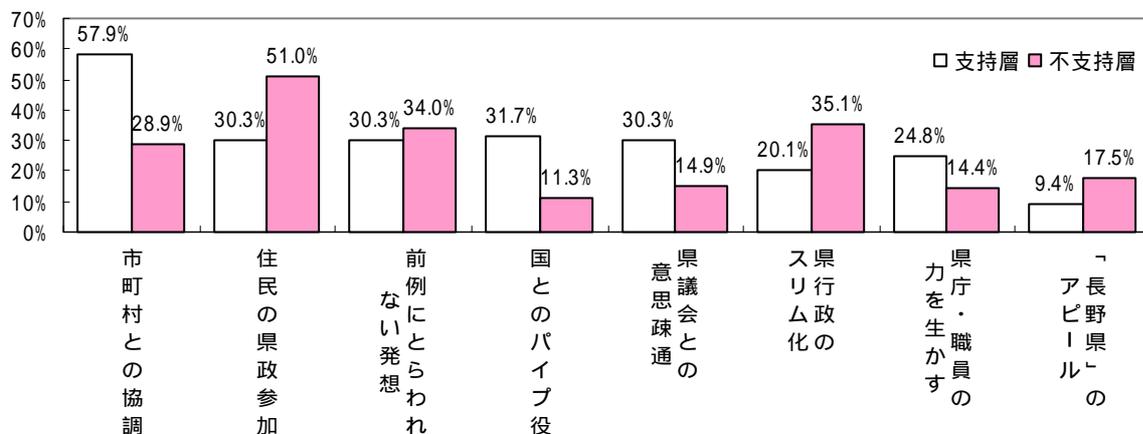
今の県議会の流れをどのようにしたいか



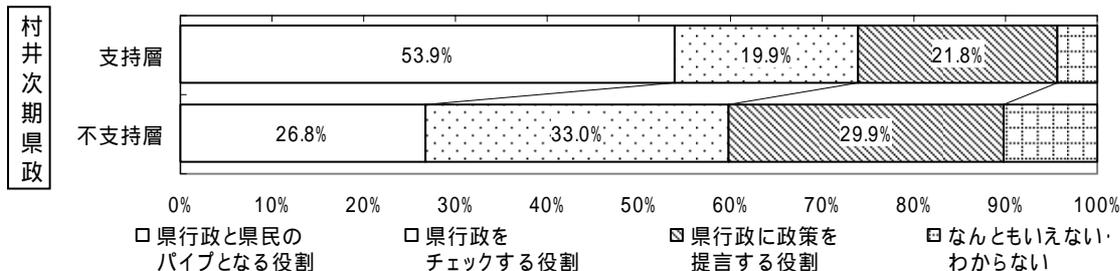
どのような政策に力を入れてほしいか



どのように県政を運営してほしいか



村井県政に対して県議会にどのような役割を期待するか



単純集計

問1 今回の知事選の結果について、どのように受けとめていますか

	全体	男性	女性
かなり満足	22.1%	23.9%	20.4%
まあ満足	37.4%	38.1%	36.7%
やや不満足	21.4%	16.8%	25.9%
かなり不満足	17.3%	19.8%	14.8%
なんともいえない・わからない	1.9%	1.5%	2.2%

問2 今回の投票では、前回2002年知事選での田中康夫氏に対する評価を変えましたか、変えませんでしたか

	全体	男性	女性
前回と同じく支持した	37.4%	35.8%	38.9%
支持から不支持に変えた	27.5%	25.6%	29.3%
前回と同じく支持しなかった	24.0%	28.4%	19.7%
不支持から支持に変えた	1.8%	1.3%	2.2%
前回または今回、投票しなかった	7.3%	7.1%	7.4%
思い出せない・言いたくない	2.1%	1.8%	2.5%

問3 県政の事業・組織の運営について新しい村井知事にどのように進めてほしいですか

	全体	男性	女性
少し変えるのがよい	48.8%	44.9%	52.5%
大幅に変えるのがよい	29.1%	33.8%	24.6%
これまでと同じでよい	16.8%	17.5%	16.0%
なんともいえない・わからない	5.4%	3.8%	6.9%

問4 村井知事・県政にはどのような政策に力を入れてほしいですか(3つ以内)

	全体	男性	女性
高齢者福祉	48.9%	45.2%	52.5%
財政立て直し	38.1%	42.4%	34.0%
産業振興と雇用	36.5%	43.7%	29.6%
教育の充実	32.5%	27.4%	37.4%
子育て支援	30.6%	24.4%	36.7%
環境保全	30.4%	29.9%	30.8%
防災・治水	14.4%	15.5%	13.3%
公共事業の拡大	12.9%	15.7%	10.1%
その他	1.3%	1.0%	1.5%
特にない・なんともいえない・わからない	2.1%	2.3%	2.0%

問5 公共事業の進め方について、知事にどのような取り組みを望みますか

	全体	男性	女性
財政再建を軸に事業を絞り込むべきだ	56.9%	59.6%	54.2%
国の補助金を積極的に利用して進めるべきだ	37.1%	36.8%	37.4%
なんともいえない・わからない	6.0%	3.6%	8.4%

問6 村井知事にはどのように県政を運営してほしいですか(3つ以内)

	全体	男性	女性
市町村との協調	49.8%	48.2%	51.2%
住民の県政参加	35.5%	33.8%	37.2%
前例にとらわれない発想	31.8%	27.9%	35.5%
国とのパイプ役	26.3%	25.4%	27.1%
県議会との意思疎通	26.0%	27.4%	24.6%
県行政のスリム化	24.4%	26.4%	22.4%
県庁・職員の力を生かす	22.4%	24.1%	20.7%
「長野県」のアピール	11.1%	11.2%	11.1%
その他	1.5%	2.0%	1.0%
特にない・なんともいえない・わからない	4.0%	4.1%	3.9%

問7 長野県の知事にはどのようなリーダーシップを期待しますか

	全体	男性	女性
色々な意見を調整し組織的に取り組んでいくタイプ	76.5%	73.1%	79.8%
自分の理念を前面に出して引っばっていくタイプ	18.3%	21.6%	15.0%
なんともいえない・わからない	5.3%	5.3%	5.2%

問8 県立高校の統廃合を来年度に一斉実施する方針について、村井知事にどのように取り組んでほしいですか

	全体	男性	女性
これまでの方針にこだわらない方がよい	69.6%	69.3%	70.0%
これまでの方針どおりに行う方がよい	23.3%	24.4%	22.2%
なんともいえない・わからない	7.1%	6.3%	7.9%

問 9 村井県政に対して県議会にはどのような役割を期待しますか

	全体	男性	女性
県行政と県民のパイプとなる役割	46.5%	39.6%	53.2%
県行政をチェックする役割	23.5%	26.1%	20.9%
県行政に政策を提言する役割	23.5%	28.7%	18.5%
なんともいえない・わからない	6.5%	5.6%	7.4%

問 10 来年春に統一地方選があり、県議選が行われます。今の県議会の流れをどのようにしたいと思いますか

	全体	男性	女性
ある程度変える必要がある	51.1%	44.2%	57.9%
大きく変える必要がある	35.6%	41.1%	30.3%
変える必要はない	9.8%	12.4%	7.1%
なんともいえない・わからない	3.5%	2.3%	4.7%

問 11 村井知事を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	35.9%	38.3%	33.5%
どちらかといえば支持する	36.3%	32.5%	39.9%
どちらかといえば支持しない	14.0%	14.2%	13.8%
支持しない	10.3%	12.4%	8.1%
なんともいえない・わからない	3.6%	2.5%	4.7%

問 12 どの政党を支持していますか

	全体	男性	女性
自民党	24.1%	25.1%	23.2%
民主党	18.5%	23.4%	13.8%
共産党	4.5%	4.8%	4.2%
公明党	2.8%	3.0%	2.5%
社民党	2.0%	1.8%	2.2%
新党日本	0.4%	0.8%	0.0%
国民新党	0.3%	0.3%	0.2%
その他の政党	0.3%	0.5%	0.0%
支持する政党はない	46.1%	39.8%	52.2%
言いたくない	1.1%	0.5%	1.7%